

この夏も内子町の子どもたちが、さまざまな舞台で大活躍！
高い目標に向け頑張る、子どもたちの輝く姿を紹介します。

交通安全自転車愛媛県大会 内子小学校が2連覇達成

内子小学校B

左から：宮内颯太郎くん、野田智広くん、松本葉歩さん、
幸山亜由美さん（全員5年）



「交通安全こども・高齢者自転車愛媛県大会」が6月28日、松前町で開かれ、内子町から出場した内子小学校Bが優勝、五十崎小学校が準優勝、内子小学校Aが3位に輝きました。こどもの部で優勝した内子小学校Bは、8月6日に東京で開かれる「第49回交通安全子供自転車全国大会」に出場します。

同大会は、交通ルールの知識を問う学科テスト、安全運転の技術を競う走行テスト（安全・技能）の総合得点で審査が行われます。指導した徳本正輝さんは「予選は3位だったので、優勝できると思っていた。わずかな期間で、できる限りのことをした子どもたちの姿勢が素晴らしかった」とたたえます。宮内颯太郎くんは「全国から小学生が集まるけれど、緊張に負けないようにしたい。実力を出し切れるように頑張ります」と意気込みを語りました。

約1mの間隔で置かれたピンの間を、S字で走行。巧みに自転車を操る幸山さん



「第46回愛媛県少年剣道大会」が6月22日、愛媛県武道館で行われ、内子町内の小学生の選抜チーム・大洲喜多剣道連合会Aが準優勝しました。

同連合会では過去5回準優勝していますが、内子町内のメンバーだけでの準優勝は初めてです。普段はそれぞれの剣道会で稽古をしていますが、大会のために大瀬小学校での合同練習を重ね、チームワークを高めてきました。監督の田村夢基さんは「優勝したかったけれど、満足できる結果。内子町内の剣道会全体が強くなっている」と喜びます。また中田秀敏くんと秋山翔くんが愛媛県選抜の選考会を控えていることに触れ「愛媛県を引っ張るような選手に育ててほしい」と激励します。大将を務めた中田くんは「悔いを残さないよう、みんなで頑張った結果。このチームは最後だけけど、また一緒に練習して強くなろう」と爽やかな笑顔で話してくれました。

内子町内の小学生連合チーム 愛媛県大会で準優勝

大洲喜多剣道連合会A

上段左から：秋山翔くん（大瀬小）、福岡涼翔くん（小田小）、
稲積恵莉華さん（大瀬小）、下段左から：渡邊敢太くん（天神小）、
中田秀敏くん（大瀬小）、永居歩起くん（小田小）



厳しい道を選び、つかんだ栄光 2つの相撲大会で全国へ

佐々木剣心さん（御荘中学校3年）

愛媛県中学校総合体育大会の相撲競技が7月20日、愛媛県総合運動公園相撲場で開かれ、御荘中学校相撲部が5年ぶり2回目の優勝。8月23、24の両日、徳島県で開かれる全国中学校相撲選手権大会への出場を決めました。

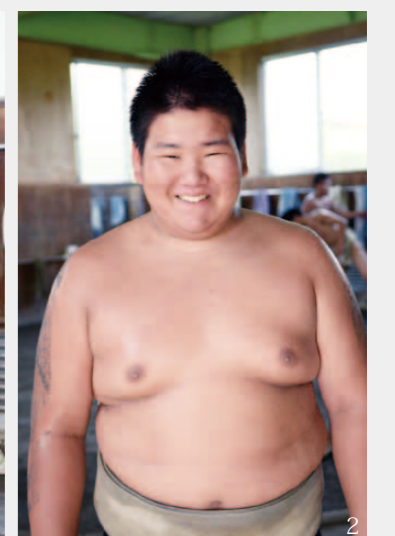
同部の佐々木剣心さんは愛媛県の代表選手に選ばれ、8月10日に両国国技館で開かれる、全国都道府県中学生選手権大会にも出場します。

佐々木さんは小学校を卒業後、親元を離れ愛南町のアパートに住み、南宇和高校相撲部の先輩たち2人と生活を共にしています。「愛南町に来てすぐのときは、一人で暮らすことが大変だった」と振り返

る佐々木さん。それでも、この道を選んだのは「自分の体を生かすために、強い学校で相撲がしたかった」と当時の思いを語ります。

撲部顧問の土居一暎さんは「剣心は1年生のとき、なかなか勝てなくて、つらいときもあった。まだ心の幼さは残るが、強くなっている。相撲のために愛南町まで来て、やっとなつかんだ全国大会の晴れ舞台だから、思う存分やってほしい」と鼓舞します。

練習は南宇和高校と合同。先輩たちとの激しい練習に「しんどいけれど、下半身の強化がもっと必要」と佐々木さん。「全国では全力を出し切って、一つでも多く勝ちたい」と笑顔を見せてくれました。



1_「申し合い」とう練習で、高校3年生の胸を借りる佐々木さん。
(右) 激しくぶつかり合う音が、相撲場に響く 2_ 笑顔で取材に応じてくれた（南宇和高校相撲場で）